

JEG ニュースレター 193号

www.jegschweiz.com

2024年12月14日発行

小さな証

スイスに生まれ育った筆者が母の祖国日本で新潟の高校での留学という得難い経験で出会った真実とは、P2

招待牧師

北イスラエルにあるホロコースト生存者のための施設理事長の重責にあるマイヤー牧師に代わって、矢吹牧師にご奉仕いただきました。P3

牧師ご夫妻感謝会

ゲルスタ牧師を引き継ぎスイスJEGを献身的に牧会されたマイヤー牧師ご夫妻への感謝会が催されました。P3

ユティカ感想文集

秋のユースリトリートは、デュッセルドルフで開催されました。参加者の感想・証をご覧ください！

小さな祈り

私たちの天のおとうさま

深き暗闇の中を歩むとき
林の木々が風に揺らぐようにではなく、
神が共におられるという眩い光を持ち、
真っ直ぐに突き進んでいけますように。



『まことに、あなたがたに言います。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです。』マタイの福音書 25:40

11年の長きにわたってスイスJEGの群れを牧会くださったマイヤー牧師ご夫妻が、新たな人生のステージに挑戦されるため、今年いっばいで牧師のお働きを辞任されることになりました。私たちは、お二人の生きる姿と謙虚で柔和に私たちに接し、そして導いてくださったことを決して忘れないでしょう！



ちいさな証

交換留学生の証

ヴァイランド天音

スイス日本語福音キリスト教会



今年の3月から8月まで、交換留学生として日本の新潟県に行ってきました。

日本に行くのは楽しみでしたが、不安なこともたくさんありました。うまく適応できなくて、精神面に悪影響が出るのではないかと心配でした。幸い、学校の初日に話しかけてくれた人が何人かいて、彼らのおかげで、学校に慣れることができました。友達にはいつでも頼ることができ、私が解らなかったすべてのことを理解できるように手助けしてくれました。私たちは一緒に昼食を食べ、時々学校の外でも会いました。今も良い友達です。

学校生活は本当に楽しかったです。クラス(高2)の皆と授業を受けたり、バレーボール部にも入りました。部活のメンバーはとても親切でプレーが上手で、練習は夕方6時半まで続くこともよくありました。運動会も本当に楽しかったです。スイスで経験した運動会とはまったく違うエネルギーだったので、その違いが見られて良かったです。怖かったのは体育の授業です。体育の先生はユニフォームの着方や全体での行動にとっても厳しく、クラスには遊び好きな子が多かったので、ほぼ毎回授業で説教されました。



私は2つのホストファミリーで生活しました。最初のホストファミリーは郊外に住んでいて、基本的に市内に行く方法はありませんでした。そこで過ごした最初の2か月間、新潟の教会はステイ先からの逃げ場のようなものでした。

牧師の家族と教会の人達は私をとても大事にしてくれて、一緒に教会に行くために迎えに来てくれました。車に乗っている間に、私は彼らと現在の状況を話し合うことができました。ホストファミリーを変えることができたのは、彼らのおかげもあると思います。



2番目のホストファミリーは市内にも近く、そこに着いた時、すぐに歓迎されていると感じました。その家で過ごした3か月間は、信じられないほど恵まれていたと思います。ホストマザーは私が教会に行くことをとても支持してくれ、それは安心でした。牧師の家族は近くに住んでいたのも、いつも私を迎えに来てくれました。新しいステイ先では良い環境に恵まれ、周りには助けってくれる人や、悩みを聞いてくれる人がたくさんいました。

クリスチャンではない家族と一緒に暮らして、私はスイスの家族との違いを見ることができました。日曜日に教会に行かないとか、食事の前に祈らないとか、もっと明らかなこともありましたが、でも、私は彼らの死についての考えにも驚きました。彼らには、死後何もないことに気がつきました。

留学中は、二度と経験できないようなことを経験している瞬間がたくさんありました。日本でのこの恵まれた時間を私に与えてくれたのは神様だと思います。交換留学を通して沢山のことを学んだので、将来に活かして行きたいです。皆様、お祈りありがとうございました。

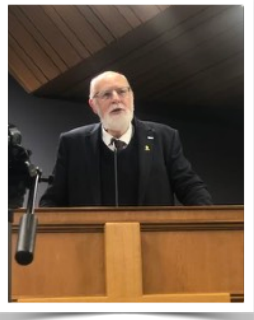


佐渡島・国仲平野にて



新潟市白根の桜並木

1、マイヤー牧師ご夫妻感謝会



11月24日のスイスJEG創立31周年記念礼拝の後、今年末でスイス日本語福音キリスト教会の牧会を辞任されるマイヤー牧師と牧師を愛と忍耐で支えてこられたルツ姉に感謝して、感謝会が催されました。礼拝後、“マイヤー牧師ご夫妻と歩んだ11年”を記録したスライドショーが上映され、その歩みを感謝を持って振り返りました。

スライドショーはこちらでご覧いただけます。https://youtu.be/8190A1pRIFs?si=bHMwI0b0_QLZyJrQ

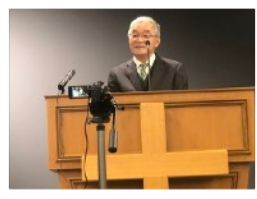
その後、場所をCSに移し、マイヤー牧師ご夫妻の献身的なお働きに感謝して、教会員とスイスJEGを創立時から支えてこられた元宣教師の皆さんを交えて、感謝会が開催され、賛美と喜びに満ちた会となりました。

感謝会のスライドショー：<https://youtu.be/U130GM3JivY>

ご夫妻には、在任中の写真によって作成された写真アルバムや役員会会長原憲二兄の手作りによる見事な木製ブルーティースピーカーの記念品が贈呈されました。



2、招待牧師によるメッセージ



Bad Liebenzell 近郊、Zedakah法人セミナー宿泊施設Haus Bethelほか、北イスラエル、レバノン南部に隣接するホロコースト生存者のための施設、Gästehaus in Shavei Zion並びにPflegeheim in Maalotに重責を負うマイヤー牧師の負担軽減のため、今年はフランクフルト日本語キリスト教会の矢吹博牧師ご夫妻が幾度もスイスへお越しくださり、ご奉仕くださいました。感謝!



マイヤー牧師ご夫妻への感謝会

11月10日の矢吹博牧師のメッセージ”神からの問いかけ～私たちはどう答えるのか”はこちらで視聴いただけます。<https://youtu.be/QjUgfyiB2AM>



また、メッセージに先立って、自ら制作したイラストを用いての矢吹牧師の”子供のためのお話し”もアップされていますので、お子様と共に楽しみください。<https://youtu.be/gKz5kQIYhw>

この説教は“The Question from God How Will We Respond?”、のタイトルでグルンケマイヤー・マーク兄によって英語に同時通訳されたものもご視聴いただけます。<https://youtu.be/rDqG1tfHb9k>

矢吹牧師ご夫妻は、翌日、老人ホーム”Halden”に入居されているクンツ・ルート元宣教師を訪問され、矢吹牧師ご夫妻とクスター節子姉による日本語での賛美をお喜びいただきました。その日の夜には、サントガーレン市の家庭集会”アネモネの会”でもご奉仕されました。矢吹牧師ご夫妻によるスイスJEGへの献身的なご奉仕を心から感謝します。



3、秋のユティカが祝福の内に終了

在欧の若き日系クリスチャンの信仰生活に欠かせぬ秋のユース・リトリート”ユティカ”は、欧州各地から27名の参加者を得て、10月18、19、20日とデュッセルドルフのユースホステルで開催されました。



デュッセルドルフ日本語キリスト教会のヘーゲル牧師による「神様に委ねる」をテーマにメッセージが構成され、学校、仕事、恋愛、自分の将来などで悩む若者には、これからの人生への指針、そして大きな励ましとなったようです。

今回の特色は、ティーンズがたくさん参加したことでした。真剣な討論の時間もあり、笑う時間もあり、最後は、皆の心にのこる思い出を振り返り、証をさせていただき、一同、大いに勇気づけられました。

今年の冬ユティカもスイス・チューリッヒ湖畔グライフェンゼーで12月27日から29日まで開催されます。どうか皆様のお祈りを願います。

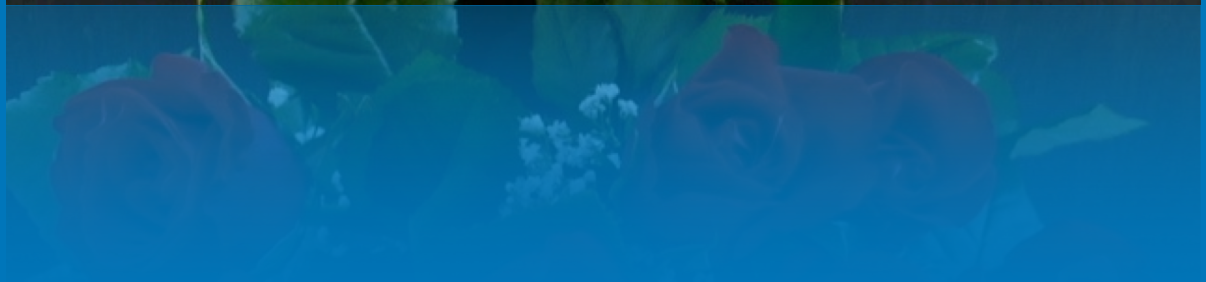
マーク・グルンケマイヤー記

4、世界各地から月報／ニュースレター&メルマガが届いています。ベルギー宣教通信、ミラノの風、フランクフルト日本語福音教会月報ひろば、工藤篤子メルマガ、井野葉由美メルマガ、バルセロナ日本語で聖書を読む会月報、デュッセルドルフ日本語キリスト教会月報、ケルン・ボン日本語キリスト教会月報、森ゆりニュースレター、ミッション”宣教の声”、”ハーベスト・タイム月報”が届いています。お読みになりたい方は、松林までご連絡ください。

マルチン&ルツ・マイヤー御夫妻に贈る
ことばの花束



テキストを入力してください



主の素晴らしさを味わい

トムセン・ハンス、千香子

主の素晴らしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ、彼に身を避けるものは。（詩篇34：8）

わがたましいよ。主をほめたたえよ。主のよくしてくださったことを何一つ忘れるな。（詩篇103：2）

マイヤー先生、ルツさん、

聖餐式の時、先生が毎回読み上げてくださったこの二つの御言葉は、深く私の心に留まっています。先生の低く落ち着いた声が今でも耳に響いてきます。これからもこのみ言葉に支えられながら生きていきたいと願います。

先生、ルツさん、長い間、長い運転をされてジェックまで通ってくださったことを心から感謝いたします。何度も往復された道のりを主が事故や怪我からお二人を守ってくださったことも感謝しています。

いろいろ健康の面で心配もありましたが、主は良いお方です。これからも引き続き、その良いお方である主の大きな守りの御手がお二人の上にありますように祈りしています。先生はこれからも、ますますイスラエルのためのお働きが続くことでしょう。そのお働きが祝福されますように。

お二人の長年にわたる献身的なお働きに感謝しつつ。



どれほどの喜びだったでしょうか 原しのぶ



2014年から、主が私たちのJEGにマイヤー先生とルツさんを立ててくださりました。私たちにどれほどの喜びだったでしょうか。

先生にはいつもいつも遠くから運転をして、JEGのために丁寧にみことばのお取次ぎをしていただき、またJEGを導いてくださったことを、心から感謝しています。振り返ってみますと、色々なことがありました。

みことばに忠実にお働き下さったことで私たちに勇気と励ましがたくさん主から与えられました。修養会でも先生が全身全霊でお語りくださったことは忘れません。

ルツさんは私にとっては心の支えでした。何か困ったときはどのようにしたら良いか、いつも主にあって指針とアドバイスをいただきました。来年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

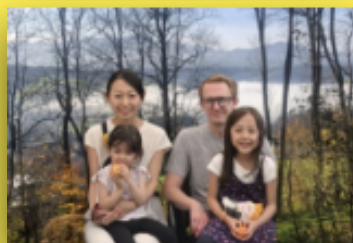
マイヤー先生、ルツさんの事を考えたら、どんな言葉が浮かんできますか？

ゲルスタ・ウェンディ

忠実 忍耐 優しさ
祈り しもべの心
赦しの心を持つ 良い模範



離れかけていた心を フォーグラー麻未



スイスに来てから少し教会から離れかけていたときに、マイヤー先生を通して聖書のお話を聞き、教会に戻ってくる事ができました。離れかけていた心を連れ戻して下さりありがとうございます。自由に礼拝に通えることがいかに恵まれたことを教えていただきありがとうございます。

フォーグラーゆうな

マイヤー先生

いつもやさしくしてくれてありがとうございます。マイヤー先生のクリスマス礼拝のことをよくおぼえています。あまり会えなくなるのはさみしいです。

フォーグラーいずみ

マイヤー先生ありがとう。



お別れの感謝の言葉！

トマス・ミュラー

10年以上前、ウスターのJEGでマルチン・マイヤー牧師と出会った時、私は彼が日本語で説教し、自ら通訳もできることに感銘を受けました。しかし間もなく、彼がイスラエルへの深い知識と愛を持って聖書を解き明かし、私たちに近づけてくれることに、さらに感銘を受けました。スイスや日本の自由福音教会でも、イスラエルと神の民に対するこれほど深い愛を経験したことはほとんどありませんでした。

JEGと共に今まで3回、私は聖地旅行に参加することができました。それは私の人生における3つの頂点であり、JEGの教会にとっても重要な経験でした。短期間で4000年の歴史についてこれほど多くのことを学び、体験できたことは驚きでした！私たちの主であり救い主が生きていた場所にいることは素晴らしい体験でした！



マイヤー牧師の心優しい妻のルツさんがスイスまでの長い道のりに同行してくれた時はいつも素晴らしく、彼女の作るケーキもとても美味しく頂きました！

過去6年間、JEGの役員として奉仕している間、幾度か困難な問題を解決する際に非常に助けとなったマイヤー牧師の落ち着いた、思慮深く、愛情のある態度に、私は度々感謝していました。マイヤー牧師はJEGともっと多くの時間と交わりを持ちたかったと思いますが、特にコロナ危機とイスラエルでの戦争により、ツェダカ（Zedakah）での彼の任務はますます多くなっていきました。

マルチンとルツ・マイヤー夫妻がJEGに与えてくれたすべてのことに、私は深く感謝しています。神様が彼らを豊かに祝福してくださいますように！

力と気品をまとい クスター節子

マルチン先生、ルツ先生

11年間神さまの御心を言葉で、また態度で教えてくださりありがとうございました。先生からイスラエルについてユダヤ人について正しい情報をいただき神さまを知る上でユダヤ人のことを知ることがどんなに大切かを学ばせていただきました。

また一生に一度の聖地旅行をとJEGで初めての聖地旅行に参加させていただいたのが始まりで合計3回も聖地旅行に参加させていただき、あんなに小さなイスラエルなのにその都度新しい発見をさせていただきました。



本当に素晴らしい学びと交わりの11年間をありがとうございました。毎回箴言の『力と気品をまとい、ほほえみながら後の日を待つ。』を読むたびにルツ先生が目の前に浮かぶのです

そこでルツ先生とマルチン先生にこの聖句をお送りいたします。「箴言31章10節から31節」心からの感謝を込めて。

貴重な時間をありがとう 島延之

マイヤー先生、あの時は私が洗礼を受けたいという思いで先生にご相談させていただきました。2022年に先生から「基礎の学び」を8ヶ月間学び11月に洗礼を受け、もう2年も過ぎてしまいました。

あの時は先生の貴重な時間を私に費やしてくださり、本当にありがとうございました。主の導きでマイヤー先生と教会の兄弟姉妹に祝福されました。神様ありがとうございます。感謝いたします。



その2ヶ月後、先生がイスラエル聖地旅行を計画してくださいました。先生は、イスラエルに何百回と行き来されています。その人から、私が聖書から学んだ場所に実際にいて、詳しい解説を聞いて感動しました。素晴らしい旅行になったことに感謝します。

今年の4月にはカールスルーエの教会でマイヤー先生の礼拝を聞いてその後、原さん夫妻と一緒にマイヤー先生宅にお邪魔しました。マイヤー先生ルツ先生の心温まるおもてなしは素晴らしい思い出となりました。ありがとうございました。

これからも お二人のご健康を心よりお祈りしています。

愛と忍耐、誠実さを持って 井ノ上歌歩



マイヤー先生ご夫妻と初めてお会いしたのは、5年半前に訪れたJEGでの礼拝の時でした。

あれから、JEGやバーゼルの聖書を読む会で、とてもお世話になりました。特に印象深いシーンは、JEGの修養会である夜、葉子さんとマークと3人で、普段あまり聞くことができない信仰に関する疑問をマイヤー先生に聞き、それについて誠実に、また忍耐を持って答えてもらったことです。

マイヤー先生、そしてルツ先生はわたしにとって、いつお会いしても笑顔で「お元気ですか？」と聞いてくださる、とても温かいご夫妻です。

わたしもそんなお二人にならって、どんな人にも温かい笑顔で接し、また神様について愛と忍耐、誠実さを持って語れる信仰者の一人になりたいです。JEGとともに歩んでくださって、本当にありがとうございました！

一冊の本 ヘス明美

11年間のJEGでの尊いご奉仕を、本当にありがとうございました。主人のマティアスが癌だと分かった時、一番に駆け付けて下さったのはマイヤー先生でした。

そしてその時に持って来て下さった一冊の本で、主人は再び神様に立ち返ることが出来ました。

あれからちょうど10年経ちますが、その時の感謝はいつも忘れた事がありません。どんな長距離でも面倒に思わず、どんどん運転されるマイヤー先生、これからもどうぞ沢山の方に主の御言葉を届けて下さい。大変お世話になりました。お元気で過ごして下さい！



神様に遣わされたお二人

Vogeli Robert、すみ子

マイヤー先生、ルツさん

お二人は神様が遣わして下さった最適、最強、最高の羊飼いでした！長い間、JEGでのメッセージ、牧会、ストラスブール集会、各地での家庭集会、ユースの集会、ヨーロッパ・キリスト者の集い、イスラエルでのご奉仕とたくさんの責任を持ち、忠実に真摯に忍耐強く働き下さって、本当にありがとうございました！



マイヤー先生は神様のみ言葉を私達に分かりやすくシリーズ化して話して下さったり、写真、地図、チャートを用いて理解を助け、信仰の成長を促して下さいました。先生の笑顔を見ると何となく嬉しくなり、ルツさんの落ち着いた柔和な態度はすばらしい模範でした。

神様はお二人をまた別の使命へと導かれており、新たなステップへと踏み出されます。ご健康が支えられ、これからの歩みがますます祝福され用いられます様にと心から願っています。 シャローム！

私の人生のハイライト カリン・ミュラー



2013年に息子ルカがFEGフェルランデンでの授業を修了した後、トーマスと私は再びJEGスイスの礼拝に定期的に参加することを決めました。

その時期は、マルチン・マイヤー牧師が着任した頃でした。最初から私は彼の説教に感銘を受けました。それらは聖書の

テキストとその解釈に基づいた確かな内容でした。

「聖書を定期的に学ぶべきだ」という彼の呼びかけは私の心に響き、それを実践するようになりました。また、彼の妻ルツの親切で献身的な姿勢にもとても感謝しています。

私が参加できた二度のイスラエル旅行は、私の人生のハイライトとなりました。特に、2014年の秋に初めて聖地を訪れた際は、言葉にならないほど美しい経験でした。同時に、この旅を通して、1年前に亡くなった父の死への悲しみをようやく乗り越えることができました。二度目の旅行では、マイヤー牧師と共に、ヘロデ王の神殿の遺跡を訪れることができ、とても感動しました。

マイヤー牧師がJEGでの奉仕を終えることは非常に残念ですが、その決断を理解しています。ただ、彼がゲスト説教者として引き続き関わってくださることに感謝しています。

イーゲルスロッホからデューベンドルフへ ジャンヌ・ハウリ

お二人と一緒に道を歩むことができ、とても嬉しかったです。あなた方と出会い、東西での多様な経験を聞き、学べたことを大変喜ばしく思います。また、マーチンの深みのある説教をとってもありがたく思い、心から感謝しています。

私たちの道がこれから分かれてしまうのは残念ですが、お二人の状況はよく分かっています。イーゲルスロッホからデューベンドルフまでの長い運転は、負担が大きくなっていったことでしょう。

そして、もちろん礼拝の準備やJEGのすべての働きの責任も非常に大変だったと思います。お二人の献身的なご奉仕に心からの感謝を1000回致します。



イエス様の愛 渡邊カレン



マイヤー先生、ルツさん
11年間スイスJEGでのメッセージとご奉仕ありがとうございました。ドイツから毎回運転し来てくださり、年末には寒くて暗い中ユースとティーンのためにキャンプでお話してくだ

さったり感謝しています。

ルツさんはいつも来るたび、みなさんにこまめに声がけしてくださりイエス様の愛を感じました。ケーキも毎回美味しかったです。これからのご奉仕でも祝福され健康と体が守られますようお祈りしています。



言葉を思い出しながら、 眞壁 治、かおる

我が家での聖書を読む会を支えて頂きありがとうございました。集会には大勢の方が我が家に集い、いろいろな事がありました。たくさんの感謝が思い出されます。

集会の前日「先生のお疲れはひどいのではないのでしょうか？Ruthさんは病気が治られたばかりで大丈夫でしょうか？今日は何人の方がいらっしゃるのでしょうか？」私は、いつも何か心配していましたが、そんな事とは反対にお二人の心はいつも集う皆に注がれていました。

先生から聖書の解き明かしを聴いた後、家庭集会は御言葉について考え、語り合い、その愛を味わう本当に良い時となりました。会が終わった後「心に残ったみ言葉を思い出しながら後片付けをしたなあ」と私は思い出します。

コロナ禍の後、聖書を読む会は再開したのですが、マイヤー先生はイスラエルの問題のため奮闘される事となりました。私の心配はまた湧いてくるのですが、主が先生を用いられているのですから、イエス様にお任せ致します。



心からの感謝と共に、マイヤー先生とRuth夫人の尊いお働きの上にたくさんの聖霊の導きと祝福を心よりお祈りしています。

場所が変わっても トムセン・ヨハナ

マイヤー先生、長年ジェッグでの牧会の奉仕をありがとうございました。とくに、私たちのためのお祈りを感謝しています。

その祈りによりどれほどジェッグが守られ、立ち上がって行った事でしょう。私が岩手にいた時にもお祈りで覚えてくださり感謝でした。ユティカとかのユースでの集まりにも力強いメッセージを語ってください、感謝しています。

ルツさんもいつも優しく話してくださり感謝です。美味しいケーキも最高でした。これからのお二人の道を主が祝福してくださる事を確信しています。

神の家族である事は場所が変わっても同じですね。心からありがとうございました！



マイヤー先生への感謝の言葉

今村泰典

どのような経緯だったかは定かではありませんが、マイヤー先生との初めての出会いは今から13年ほど前、先生がフライブルグ北部の教会で牧会されていた頃のことです。

スイスへの道中、車でご一緒させていただいたのが始まりでした。初対面の際、「マイヤー先生はドイツ人」という先入観から、私は終始ドイツ語で会話していたと記憶しています。しかしすぐ後で、先生の日本語がほぼネイティブ（日本生まれ日本育ち）であることを知り、私の拙いドイツ語を辛抱強く聞いてくださったことに気づいて恥ずかしくなり、顔が赤くなるのを感じたのを覚えています。

JEGの牧師に就任される前から、先生はJEGの礼拝で度々説教されていました。その際、日本語とドイツ語を自在に使い分け、必要に応じて自ら通訳されていたことに感銘を受けました。先生がJEGにいらっしゃる以前は、通訳者の確保に苦労していたのですが、この問題も解消されました。前任のゲルスター牧師も「日本語の説教を即座にドイツ語に訳すのはとても疲れる」と漏らしていたことを思い出します。

日本語の堪能さ以上に、マイヤー先生の説教には、心の奥に深く届く力強さと核心に触れる真実が込められています。初めてJEGの礼拝に訪れた私の友人たちは、先生の説教が大学の講義のようだと言っており、少々難しい所もあるのですが、先生が聖書を深く理解するために必要な歴史的背景を丁寧に解説し、理解に欠かせない知識を提供しながら御言葉の深みを伝えようとする姿勢には、心から感銘を受けました。



人柄も温厚で、教会員に対しては常に誠実に向き合い、曖昧にせず、必要なことはしっかりと伝えてくださる、実直な方でした。JEGの誰もが、そんな先生を敬愛していると思います。

また、ディスペンセーション神学に基づき、イスラエルとの関係を重視するマイヤー先生のおかげで、私はJEGの皆さんと二度、イスラエル旅行をする機会に恵まれました。聖地に足を踏み入れた時の感動は今も忘れられません。先生がいたからこそ、この聖地旅行が実現したのです。

現在、先生はドイツの慈善団体「ツェダカZedakah）」（ヘブライ語で慈善「חֲסָדָא」を意味する）の会長職としてますますご多忙になり、特にイスラエル-ガザ情勢が緊迫する中、その任務は一層の重責を伴っているようです。そのため、このままお仕事を続けられるのだろうかと思案しておりました。

そうした矢先に、今年限りでJEGを離れるとのお知らせを受け、大変残念に思う一方で、やはり限界だったのだと心から納得いたしました。この様な状況下で、これ以上のご負担をお願いするのは難しいと感じている教会員は、私だけではないでしょう。

マイヤー先生がJEGに11年間にわたり仕えてくださったお蔭で、私たちは多くのことを学び、成長させて頂きました。この教えを心に刻み、これからも御言葉を携えて前進していきたいと思います。マイヤー先生、長年にわたるご奉仕に心より感謝いたします。ここで、先生への感謝と敬意を込めて、御言葉をお贈りいたします。

1テモテへの手紙 5章17節

よく指導している長老は、二倍の尊敬を受けるにふさわしいとしなさい。みことばと教えのために労苦している長老は特にそうです。

汗だくのご奉仕

矢吹博、育代

フランクフルト日本語福音キリスト教会

マイヤー先生、同労者として主にあるお交わりを頂き、ありがとうございました。また、フランクフルト日本語福音キリスト教会のためにもみことばをお届けいただき、感謝いたします。

たくさんのお交わりの中で思い起こすのは、2015年8月30日のことです。



この日マイヤー先生は、同年6月に来独した私の牧師就任式の司式を務めてくださいました。大変暑さの厳しい日で、汗だくになりながらみことばをお語りになり、ご奉仕していただきました。そのお姿を昨日のこのように思い浮かべます。そして、年に一度姉妹教会として講壇交換の機会を頂戴いたしました。それがフランクフルトの兄姉にとってどれほど大切なことだったのでしょうか。

主が先生に与えられたこれからの歩みを、主が祝福し、導き、すべてを守られるようにとお祈りいたします。

深みある説教

松林ハイディ

私達はあなた方を通して、色々な方法で経験を積み、豊かにされた事を心から感謝します。お二人の親切で愛情に満ちた行いにいつも感謝していました。

深く掘り下げた説教はとても興味深くまた、ためになり私達の信仰が強められました。

新しい年にお二人を待ち受けているすべてのお働きの上に、神の守りと祝福が共にありますように。また、お孫さんたちとたくさんの喜びを分かち合えますように！



あなたのイスラエルへの愛

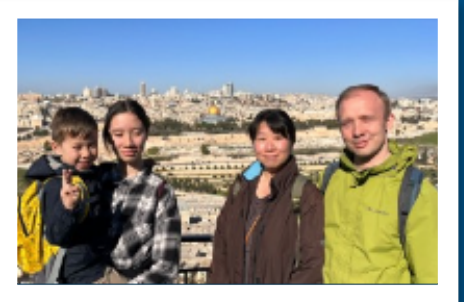
ヴァイランド・アッティラ、千佳、天音、天希

JEGでの10年以上にわたるあなたの忠実なご奉仕に心から感謝します。あなたのたゆまぬお働きを通して、多くの変わる事の無い神の言葉の知識とその働きを知らされました。

あなたの明確な説教と私たちのユダヤ人の王イエス・キリストへの焦点をととても感謝しています。あなたのイスラエルへの愛は、私たちにたくさんの神への貴重な洞察と神に選ばれた民について気づきを与えてくれました。

今年の2月に一緒に行ったイスラエル旅行は、私たちの記憶の中でいつもハイライトとして残ることでしょう。聖書に登場する場所や歴史が新たに現実的な次元となりました。

これからお二人がドイツとイスラエルでのZedekah(慈善団体)の働きにお元気で、また神様の豊かな祝福がありますように願っています。神によって結ばれている私たちは、あなたのJEGでのゲスト説教を楽しみにしています。



神様からの贈り物

松林幸二郎

愛する天のお父様! マイヤーご夫妻をあなたが慈しみ愛されたスイス日本語福音キリスト教会にお遣わしくださり、この11年間、決して簡単でないスイスの群れを牧会させてくださって、言葉で言い尽くせぬほどの感謝の念で心が満たされています。

我が父のように勝手に思わせて頂いた田辺正隆牧師からバトンはゲルスタ牧師に引き継がれたものの、師は惜しくも志し半ばで病いに倒れられ、その時、役員会会長であった私も不安と苦悩の中にありました。

そんな時、遠くシュヴァルツヴァルトから、”継続性のある講解説教を”という願いにお応えくださり、月に一回お越しくださることを快諾してくださったマイヤー先生! 私には、その容貌からサンタクローズ、いや、神様からのスイスJEGへの贈り物と私は受け取り、その気持ちはまもなく退任される日まで失せることはありませんでした。



思い出すたびに胸が熱くなることは、2016年、ザーベルシュタインで開催された第33回ヨーロッパ・キリスト者の開催にあたり、それまでの集いでは決して扱われることのなかった終末論にスポットをあて、それを”み国を待ち望む”をテーマに、その分野では第一人者である中川健一牧師を招聘したことでした。

神様、あなたはその祈りに応えて、あの超多忙な中川牧師を南ドイツまでお送りくださいました。そして、その”集い”をマイヤー牧師と力と心を合わせ、兄弟姉妹の大きな助けを得て、実に実りある豊かな”集い”に導いて祝福してくださいました。そのことは、天国まで持っていける忘れ難き地上での貴重で得難い経験です。

そのほか、2度にわたる”イスラエル旅行”における豊穡な経験、この11年間におけるマイヤー牧師ご夫妻との数えきれないほどの幸いな時を、今回、このアルバムを制作するにあたり、思い出が走馬灯のように頭の中を駆け巡りました。

神様、マイヤー牧師ご夫妻をスイスJEGに長い間お遣わしくくださって心から感謝し、ご夫妻の健康とこれからのお働きに必要な力と知恵をお与えくださり、大いに祝福くださることをお願いします。アーメン

引き継ぐべき貴重な財産

原憲二

11年前、神さまがマイヤー先生、ルツさんを私たちの群れに遣わしてくださったことに心から感謝いたします。そしてマイヤー先生、ルツさんが、私たちを主にある愛で包んでくださり、導き育ててくださったことを、心から感謝いたします。

マイヤー先生を通して学んだことはいろいろありますが、その中でまず取り上げるとすれば、聖書のみことばにしっかり立つということでしょう。先生のメッセージでは、多くのみことばが引用されるのが特徴です。みことばの根拠を他のみことばの引用で解き明かししてください。これは非常に大切な聖書の読み方であることを教えられました。

私たちは情報の嵐にさらされ、人間の巧みな言葉に思わず引き付けられます。しかし、そこに神様がいないのであれば、惑わしの霊が私たちを神様から引き離そうとしている危険があります。個人も、教会も、世の流れに飲みこまれないで、しっかりみことばに立つことが、ますます大切な時代になってきています。先生はみことばを通して度々警鐘してくださり、先生の読み方から、みことばを字義どおりに正しく理解する秘訣を教えてくださいました。

もう一つ、取り上げるべき大切な学びは、イスラエルについてでしょう。みことばを字義どおりに理解する延長線に、イスラエルを正しく理解することが繋がっていると言われます。イスラエルを「教会」として置き換えて理解する「置換神学」は聖書の正しい解釈ではないことを学びました。これを知ったのは、イスラエル聖地旅行に合わせた準備会でした。

4回のイスラエル聖地旅行では、イスラエルの世界に囲まれ、朝も、昼も、夜も、先生からみことばのシャワーを浴びて、多くの発見に遭い、一滴もこぼすまいと必死で記録をとったことを思い出します。急速に発展しているイスラエルの都市を見ると、やはり聖書の預言が真実であること、また、イスラエルという木に接ぎ木されて私たち異邦人クリスチャンが存在していることを知りました。聖書が生きたものとして読めるようになった、私の信仰生活の中でも貴重なマイルストーンといえます。

先生は、Zedakahのお働きを通して、イスラエルを支援し、神様に仕えておられます。私たちは、主がマイヤー先生にこの召しを与えておられることを受け止め、私たちも主に仕え、先生とともにイスラエルのために祈り続けて、支援していきたいと思っています。



現在 戦時下のイスラエルですが、イスラエルは他の大国に頼るのではなく、主により頼むとき、主はイスラエルの叫び、祈りに答えてくださると、聖書は書いています。（イザヤ37章20節）私たちは、主がイスラエルを通して、その栄光を全世界に現わしてくださる日を待ち望んでいます。

先生の伝えてくださったことは、教会にとっての大きな恵みであり、引き継ぐべき貴重な財産といえるでしょう。また、ルツ夫人は話を交わすたびに私たちに優しさを注いでくださいます。ほっとするひとりで、私たちの心の支えです。黒い森の中の先生宅で心温まるおもてなしをルツ夫人、マイヤー先生から受けたことを忘れません。

これからも引き続き、マイヤー先生とルツ夫人とのつながりを大切に保っていけたらと願っています。

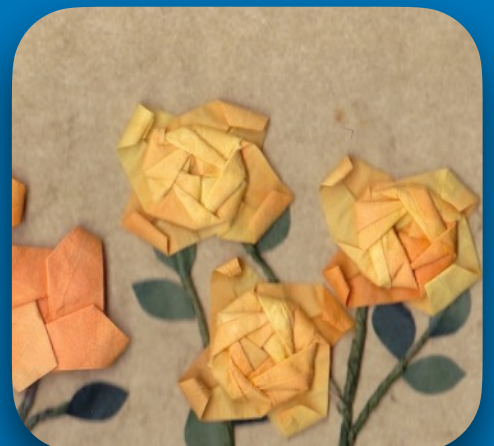
二つの課題

マーク・グルンケマイヤー

JEGでの長年にわたる忠実なご奉仕に感謝します！マルチン先生、神学的な深みのある素晴らしい説教、本当にありがとうございました！



私にとって残っている二つの課題は、イスラエルの重要性と、私たちの視点を儻いものではなく永遠に向けることの重要性です。また、私の質問にいつも時間を割いて答えてくださったことにも感謝します！これからの人生の新しい段階に神の祝福がありますように！



こんな風になれたらいいな

脇山多恵子

長い間、遠い所を忠実に奉仕してくださり、毎回きれいな日本語で御言葉を正確に解き明かししていただけたことは、恵み以外の何物でもありません。

お二人の仲睦まじい姿は私の理想であり特にルツさんの謙遜さに学ばされました。いつも優しい笑顔で接してくださって、一緒にいるだけで、心が穏やかになりこんなふうになれたらいいな—とっていました。

そんなルツさんが病気になられてお会いすることができなくなって、私にはお祈りすることしかできませんでしたが、日々それまで以上にお祈りさせていただくことによって、より近く御夫妻を思うことができるようになりました。



そして、また再びお会いできた時の喜びは大きなものとなり、神様から与えられたプレゼントと心から感謝しました。

大好きなお二人にお会いできなくなるのは、本当にしいし淋しいですが、神様の働き人としての大切な奉仕が、これからも守られますように祈り続けさせていただきます。

長い年月と一緒に

脇山 齊

就任なさって11年、長い月日をご一緒にできて嬉しく思います。

私にとってのハイライトはイスラエルへの旅でした。現地を回り各場所での説明やまた祈りの時などとても有意義な時間を過ごさせていただきました。これからのマイヤー・マルチン先生の働きにイエス様がいつも共にいてくださり必要な力を与えてくださるようにお祈りしています。ありがとうございました。



ゆうなちゃんの描いたマイヤー先生



いずみちゃんの描いた修養会でのピクニック



僕たちの心に響いたこと

トムセン・チャーリー、マイヤ

愛するマイヤー先生、ルツさんへ、

11年間にわたり、私たちの教会を力強く、そして愛情深く導いてくださったこと、心から感謝します。

マイヤー先生の御言葉への忠実さ、それと思いやりに満ちた指導は、僕たちの心に響きました。マイヤー先生ご夫妻のたくさんの奉仕の中にイエス様が常に中心にいて、それを通してイエス様の愛を感じることができました。

神様の導きによって、スイスJEGでの牧師としての任務を終えることを知り、とても寂しく思いましたが、マイヤー先生の新しい任務が神様の祝福に満ちたものであることを願ってます。私たちに祝福であったように、神様が新しい任務を通してマイヤー先生ご夫妻を他の人々へ、そしてイスラエルへの祝福として使われますように祈ってます。本当にありがとうございました！



一番の思い出は、、

トムセン・マリア

マイヤー先生、長年お疲れ様、そしてありがとうございました！マイヤー先生との一番の思い出は一緒にコンファメーションできたことです！いつもユティカでのご奉仕とか素敵な説教ありがとうございました。

これからの働きにも神様の大きな祝福があるよう祈っています！



いつもすごく美味しかったです

トムセン・ペーター

マイヤー先生とルーツさん

この11年間ありがとうございました。堅信礼のためにも辛抱強く教えてくださってありがとうございました。ルツさんのケーキもいつもすごく美味しかったです！

